

TC 通信

No 89 2020年1月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。(旧 YA 通信)
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『失われた世界への時間旅行 冒険考古学』

堤 隆/著 新泉社 21/ウ/19

時空を超えた旅を夢想したことはないだろうか。

本書は、偶然にも古代にタイムトラベルできるようになった中学生の少年、加藤隼人の冒険物語である。古代人が何を食べていたのか、どんな暮らしをしていたのかなどが、石器時代、縄文時代へと旅をした隼人の目を通して語られる。著者は現役の考古学者であるので、それらの描写は科学的根拠に基づいており説得力がある。そして、現代に戻った隼人は…。縄文時代で共に暮らした幼い兄弟二人との、意外な形で再会もあり、胸が熱くなる。

「現代の日本人は、縄文人が持っていたDNAの約10%を受け継いでいる」とする研究結果が今年5月発表された。1万年の時を経て、縄文人と現代の我々がつながっているのである。さあ、隼人とともに時をさかのぼってみよう！準備OK？

巻末には旧石器時代、縄文時代などのわかりやすい本が多く紹介されている。考古学に興味を持った人（もちろん、そうでない人も）必見である。

名作 たからばこ



『文豪ノ怪談ジュニア・セレクション 獣』

太宰 治/ほか〔著〕 汐文社 918/チヨ/16

いくつもある名作の中でも「獣」という題材をテーマに集められた名作集となっています。教科書に載っていた作品も掲載されているため、懐かしいと感じる方もいるかもしれません。もしかするとアニメで知っている方もいるでしょう。意図したわけではありませんが、この本に掲載されている文豪たちは某アニメに出てくる文豪たちが、大集合しております（编者曰く）。

短めの作品ですし、解釈・注釈付きですのでさらっと読むことができます。ですが短めの作品とはいえさすが名作たちを生み出した文豪の作品、奥が深い。再度読むことで授業中とは違った感想を得ることができるかもしれませんし、同じテーマの異なった文豪たちの作品でもありますので、読み比べも可能です。お気に入りの文豪（作品）を見つけてみませんか？

もしこの本でお気に入りの作品が見つからなくても大丈夫。このシリーズは全5巻ですので、他のシリーズもお楽しみいただけます。

テーマ ぬくぬく

寒い冬、風邪などひいていませんか。

温かい食べ物を食べて、ぬくぬくの部屋で気持ちがじんわりあったまるような本を読んで…。春に向けて元気を蓄えて！

『昨夜のカレー、明日のパン』

木皿 泉/著 河出書房新社 F/キサ/13 4階一般



数々のテレビドラマを生み出している人気夫婦脚本家、木皿泉さんが初めて出した8編からなる連作小説集。第11回本屋大賞第2位、山本周五郎賞にもノミネートされ、さらにNHK-BSで実写ドラマ化もされている。

物語は——7年前に若くして亡くなった「一樹」の妻「テツコ」、父「ギフ」を中心にして、関わりあった多くの人たちが、一章ごとにその死を受け入れてゆく。そして最後に「一樹」と題した章で完結し、本書のタイトルにもつながっていく構成が印象的である。

登場人物の性格や背景がわかっていくにつれて、日々の何でもない生活の中で語られる「ことば」たちがじんわりと体の中に染み込んで、ゆっくりと心があったまる。悲しいのだが笑えて、気づくと優しさに包まれている、そんな本である。読後、余韻が心地よい。ぜひ、温まってゆかれたし。

『ねこ鍋』 奥森 すがり/写真と文 二見書房 645.6/ネ/07 3階実用

寒い冬といえば鍋！今回は心が温まる鍋を紹介したいと思います。題してねこ鍋。具(?)は鍋いっぱいにつまったかわいい猫たち。食べられない鍋ですがね。食べられませんが、心はしっかり温まる鍋です。用意するものは、空の土鍋とかわいい猫たち。土鍋を設置するだけで準備は完了！あとは猫たちが入ってくるのを待つだけ。そう、詰め込むなんてかわいそうなことにはしません。置いておくだけで猫たちは自ら入ってきてくれるのです。

おススメは特盛写真と、写真に添えられている文章。実はこの写真に出てくる猫たちは保護された猫たちなのですが、飼い主さんの方まじりの文章が猫たちをととても愛しんでいることが伝わってきてほっこり、心がぬくぬくします。つつい箸を添えてしまった写真などお茶目心も満載だにゃん。



『絵本の中の幸せスープレシピ』

東条 真千子/著 辰巳出版 596/エ/08 3階実用

寒くなるとあったか〜いスープはごちそうですよね。

子どものころ読んだ絵本たち、その物語の主人公たちが食べたスープのレシピを紹介しています。

「星の王子さま」からはお星さまのパプリカスープ、「ムーミン谷の十一月」からは魚と野菜のブイヤベースなど、簡単なステップで、絵本を見ながら楽しく調理ができますよ！

大好きな絵本から飛び出した“魔法のスープ”でココロもカラダもきっとホッカホカになることでしょう。

『はじめての鍼灸』

国民のための鍼灸医療推進機構/監修 医道の日本社

492.7/ハ/19 3階実用

みなさんは、鍼灸を受けたことがありますか。どんなイメージをお持ちでしょうか。鍼は痛い、お灸は熱い、何となく、イメージできるけれどよくわからない？この本は、実際に鍼灸治療を受けた方84人に本音を聞いて書かれています。乳児や育ち盛りの子どもからスポーツ愛好家、アスリート、女性の美容と健康にも、マッサージとともに鍼灸に関心が高まっているそうです。

鍼灸の基礎知識や歴史、効果、鍼灸治療院の選び方など、初心者向けに紹介された本です。イラストや写真が豊富でわかりやすく書かれています。



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)

『火狩りの王』 日向 理恵子/著 ほるぷ出版 913/ホル/18-1 **3階児童**



ずっとずっと昔、人は自分で火をおこし自由にあつかうことができた。しかしあるときそれができなくなってしまった。わずかでも天然の火がそばで燃えれば人の体は内側から発火してしまう、だれかがそんなふうになんかを作りがえてしまった。いったいだれが？

灯子の両親もほんの小さな火がはげたその火によって体の内側から発火して焼け死んだ。人が安全に使用できる唯一の火は、森に棲む炎魔から採れる。炎魔を狩るのを生業にする者を「火狩り」という。そんな世界で生きてきた小さな灯子が、首都をめざして旅をするようになった。炎魔からのがれ灯子は旅立つ。禁じられた森で炎魔におそわれた灯子の命を助けてくれた火狩りの形見を、家族のもとにかえすために…。

首都には人類をこんな形に作りかえただれかがいるのか。灯子はどう生きていくのか。あなたはこの世界に対してなにを思うのでしょうか。

図書館員 N の本棚

今回は私、図書館員Nが愛してやまないスヌーピーの本の紹介です。

「スヌーピー」が世の中に初めて登場したのは、1950年。誕生から70年になる今も世界中で愛されています。いくつもの顔をもっているスヌーピーですが、実は本職は小説家だって知っていますか？

多くの訳を手掛けている詩人・谷川俊太郎が作者やキャラクターに捧げた詩を収録した本や、「ピーナッツ」の仲間たちによる快適に生きるための39のヒントが納められた本。はたまた洋書で1冊など、今回ご紹介した本を読み、きっとあなたももっとスヌーピーが好きになりますよ！

『ピーナッツと
谷川俊太郎の世界』

チャールズ・M シュルツ/著

KADOKAWA

726.1/ℓ/14



『It's a dog's life.
Snoopy』

by Charles M. Schulz
Ballantine Books

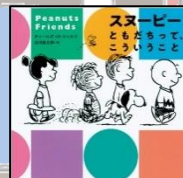
726.1/IT/19 (洋書)

『スヌーピー
こんな生き方探してみよう』

ほしの ゆうこ/著

朝日新聞社

159/ス/01 **3階実用**



『スヌーピーともだちって、
こういうこと』

チャールズ・M シュルツ/著

朝日新聞出版

726.6/ス/18 **4階一般**



進路相談室



Q. 不登校、家庭の問題、いじめ、人間関係、進路…。
大きな問題を前にしてどうしたらいいかわからなくなっています。
何か相談にのってもらえるような本はないでしょうか。

A. 『どうしたらいいのかわからない君のための 人生の歩き方図鑑』

石井 光太／著 日本実業出版社 36/ト/19 3階児童



もしあなたが今、大きな問題を抱えてどうしたらいいかわからないと感じていたら、ものすごく寂しい思いをしていることでしょう。でも著者は言っています。社会にとって子どもは何者にも代えがたい宝物だと。日本にはこの宝物を守るために、いろんな団体、法律があります。あなたはそういう人達がどこにいるのか知っていますか。だれが何をしてくれるのか、そもそもそこへ行ってどう話をしなければならぬのか。知らないことだらけではないでしょうか。この本はきっと、そんなあなたの役に立ちます。

本の中には、実際に助けてくれる専門家達のコメントも親切丁寧に紹介しています。相談にのってくれる人達は、それを仕事としている相談のプロです。今の苦しい日々を抜け出して、輝かしい未来へと羽ばたくための手伝いをしてくれる最高の人達と出会うために、この本をガイドブックにしてください。世の中は捨てたもんじゃない、たくさんの方があなたを支えてくれるよ。

ティーンズコーナーとは??

中高生（ティーンズ）世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印！

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。